

# 經濟論叢

第七十七卷 第五號

---

リカードウの經濟學體系……………岸本誠二郎(1)

新中國における人民幣デノミネーション  
について……………三木毅(29)

マルクス=エンゲルスのイギリス革命論(1)……………尾崎芳治(45)

ゲオルク・ルカーチ「若きマルクスの  
哲學的發展について(1840—1844年)」……………平井俊彦(62)

---

[昭和三十一年五月]

京 都 大 學 經 濟 學 會

京都大學經濟學會規則

第二條 本會は京都大學經濟學會と稱する

(イ)正會員 京都大學經濟學部教授、助教、講師

(ロ)助學會員 京都大學經濟學部出身者

(ハ)名譽會員 本會の事業を贊助する者

第三條 京都大學法學部教授、助教、講師

第四條 前條の外所定の會費を納めて「經濟論叢」の頒布を受ける個人及團體は購讀會員とす

第五條 本會の事務所は京都大學經濟學部内に置く

第六條 本會は左の事業を行う

一、機關雜誌「經濟論叢」を發行すること

二、別號を發行すること

三、經濟學研究叢書を發行すること

四、毎月一回學術研究會を開催すること

五、毎月一回公開講演會を開催すること

第七條 (略)

第八條 會員には雜誌を配布する、但し臨時特別號はこの限りではない

第九條 會員は左の會費を納めなければならない

(イ)正會員 八百圓

(ロ)助學會員 八百圓

(ハ)名譽會員 壹萬圓以上

第十條 購讀會員 年額 八百圓

第十一條 本會規則の改正變更及財産の處分は評議員會の決議による

昭和二十七年十二月

京都大學經濟學會

既刊目次

第七十七卷第二號 二月一日發行 定價六〇圓

日本經濟の現狀と 堀田庄三

今後の經濟政策 ケインズの一般理論について(下) 柴田敬

地方自治の歴史的 齋藤博

性格とその本質

第七十七卷第三號 三月一日發行 定價六〇圓

消費函數をめぐる省察 高田保馬

金融資本の概念と本質 靜田均

明治末期の財政政策 眞藤素一

栗原百壽著「農業問題入門」 大藪輝雄

第七十七卷第四號 四月一日發行 定價八〇圓

社會主義的世界市場の問題 松井清

地租改正の歴史的意義 關順也

下請制工業における 社會的經濟的關係 吉澤榮藏

H・M・ラーソン「經營史の資料に何をを用いるべきか」 三島康雄

執筆者紹介

岸本誠二郎 京都大學教授

三木毅 室蘭工業大學助教

尾崎芳治 京都大學大學院學生

平井俊彦 京都大學講師

山岡亮一・木原正雄編

封建社会の基本法則  
A5四四〇〇頁  
定価五二〇〇円

——同盟歴史学界の論争と成果——

島恭彦編

地方財政の理論と實態  
A5二七六頁  
定価三五〇〇円

關順也著

藩政改革と明治維新  
A5二〇〇頁  
予価二八〇〇円

——藩体制の危機と農民蜂起——

東 京 有 斐 閣 京 都

會員 會費は左記あて御納入下さるようお願い  
各位へ 致します。

一、會費納入先

京都市左京區吉田本町

京都大學經濟學部内

京都大學經濟學部

振替口座大阪五〇五三九番

一、會費 年額 八〇〇圓(前納)

一、會員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業  
年次、就職先を學會まで御通知下さい。

○ 會員外の雜誌購入は有斐閣へお申込下さい。

昭和三十一年四月廿五日 印刷  
昭和三十一年五月一日 發行 定價 八〇圓

編集兼 發行 人 簾 治良 左衛門

印刷所 中村印刷株式會社  
京都市下京區七條御所ノ内東町三九番地

發行所 京都大學經濟學會  
京都市左京區吉田本町

發賣所 株式會社 有斐閣  
振替口座大阪五〇五三九番

本社 東京都千代田區神田  
神保町三丁目十七番地

京都支店 京都市左京區北白川  
農學部 電話 停前

# Keizai-Ronzo

(THE ECONOMIC REVIEW)

---

---

Vol. 77, No. 5

May, 1956

---

---

## CONTENTS

- On the Ricardian System of  
Political Economy ..... *Seijirō KISHIMOTO*
- The Denomination of People's  
Notes in New-China ..... *Takeshi MIKI*
- Marx and Engels on the English  
Revolution ..... *Yoshiji OZAKI*
- Georg Lukács: Zur philosophischen Entwicklung  
des jungen Marx. (1840—1844)..... *Toshihiko HIRAI*
- 

Published

by

**KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI**

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)